

主催：東京外国語大学・総合文化研究所 協力：クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

ボーカロイドと多文化共生

：ボカロP・r-906の場合



一般公開・入場無料・事前登録制
(先着200名：以下より申込み)

2024年4月26日 (金)

17:40-19:40

実施場所：東京外国語大学府中キャンパス研究講義棟115教室

*本講演のオンライン配信は行いません

講演者：r-906

企画者：田島充士（東京外国語大学）

コメンテーター：山本登志哉（発達支援研究所）



本講演は、独立行政法人日本学術振興会・科学研究費助成事業
(課題番号：23K02886) の助成を受けて実施する。

Art by Ryu_Oka

© Crypton Future Media, INC. www.piapro.net **piapro**

ボーカロイドと多文化共生

：ボカロP・r-906の場合



企画趣旨

現代において、インターネットを介したアート活動は活況を呈している。特に音楽を制作しインターネットで配信する作家は、「ボーカロイド」（ヤマハ株式会社が開発した、歌声合成ソフトウェア：ボカロとも略される）および「初音ミク」（クリプトン・フューチャー・メディア株式会社）に代表されるバーチャルシンガーソフトウェアの存在もあり、ネットカルチャーの中心的存在となっている。作詞・作曲・MV制作まで手がける彼らは、「ボカロP」と呼ばれる。

ネットカルチャーの特徴として、作家と鑑賞者との距離が近いことがあげられる。作家は動画サイトやSNSなどで、多様な関心を持つ鑑賞者による、自分の作品に対する評価をダイレクトに知ることができる。またその反応を、自らの作品づくりに活かすこともできる。その意味では、彼らの活動は、様々な属性や関心を持つ他者の異質な視点をより意識した「対話」（M.M. パフチン）として展開するものといえる。そしてその姿は、多様な文化的視点を持つ他者との「多文化共生」を目指すコミュニケーションモデルの一つにもなり得る。

本講演では、アートシーンを鮮やかに駆け抜ける気鋭のボカロP、r-906氏を招き、ネットカルチャー最前線での活動をご紹介いただく。r-906氏はリスナーの多様な解釈を可能にするユニークな楽曲構成や研ぎ澄まされた歌詞の制作で、高い評価を受けている。作詞・作曲活動において、ネット越しに待ち受ける他者の視点といかに対話を続けるのかというアート活動についてお話いただく。また多文化共生を実現する交流のあり方についても、発展的に展開する。

音楽制作やネットカルチャーに関心を寄せる者はもちろんのこと、本学が探求目標とする多文化共生の実現に関心を寄せる者の参加を広く歓迎する。

（「VOCALOID(ボーカロイド)」および「ボカロ」はヤマハ株式会社の登録商標です。）

講演者紹介

ボカロP。2018年より活動開始。The VOCALOID Collection Spring 2022への出品作『まにまに』が1位を獲得し、注目を集める。ドラムンベースを用いた独特の曲構成・研ぎ澄まされた抽象性の高い歌詞などで知られ、各種イベントでの講師等を務めるなど、その活躍の幅を広げている。2024年現在、もっとも注目されるボカロPの一人である。



一般公開・入場無料・事前登録制（先着200名：左のQRコードから申込み）

*事前申込者が定員を超える場合、申込みをお断りする場合があります。また事前申込者が定員に満たない場合でも、事前登録を済ませた方に優先して入場していただきます。

問い合わせ先：r-906@tufs.ac.jp